

## 無針鍼療法

皆川 榮治

日本にも鍼（ハリ）による健康療法は一般的に行われていますが、日本でもまだ珍しい、無針ハリ療法を紹介します。

### <健康療法・無針鍼療法>

最近各種健康療法が広がっていますが、今日ご紹介するのは針を使わない鍼治療の方法です。今から約40年前に台湾で楊應吟先生が発明されたもので、体に刺さない鍼を使って人の体に当て、脈動微電流を流すことによって人体にある痛み、しびれ、かぶれなどが取れると言う療法です。

### <工学研究者による健康療法の発明>

元来、楊先生は台湾政府の公務員で經濟部（日本の経産省に当たる）工業研究所の土木材料試験研究員として17年間勤められる中で、岩石の研究を行い、岩石の弾性係数と圧縮強度の関連表を発表し工業研究院賞を受賞された経歴をお持ちです。しかし、元来、電気技師であり無線工学の専門家であったことから、友人のお子さんの脚が鍼で治るのを目の当たりにした際、「これは凄い、但し針を体に刺すのは良い気持ちがない、何とらないか。」と考えた結果、無線工学を使った微電流による治療法の考えに至ったというものです。

針を刺さない鍼の治療事例を重ねる中で効果がだんだん上がってきますが、中でも野球で右肩を痛めた高校生が、楊先生の治療で右肩のツボ3点に鍼を打ったらたちどころに治ったとの事例を学界に発表したことが大きな反響を呼びました。同時にこれら同様の事例を世界鍼灸学会10周年記念論文集に発表したことから、世の中に知れ渡るようになりました。

人の体に電流を通すなど気持ちの良いものではありませんが電流にも色々あり、通常、体に入ると悪いものが多いのですが、研究の結果、脈動電流は体内に入っても影響が全くないどころか、人の体の痛みやしびれを癒す

効果があることが分かってきました。これを見つけたのが楊先生の大発見です。



無針鍼治療を発明した楊先生

### <日本でも大きな反響>

これを日本の鍼灸学会に発表するや大きな反響を呼び台湾にも日本人の患者さんが来られる様になりました。今では日本を始め、良くなった方の評判を聞いた患者さんが、各国から来られます。最近弟子も増え、日本にも東京や大阪に20人ほどおられます。今では日本鍼灸学会でも公認の療法になっています。

使用する針は従来の鍼治療の針とは全く異なります。直径1.5cm程度の丸い金属盤の中央に長さ5mmくらいの尖った針部分が出ており、コードで繋がった金属盤に微電流が流れ、体に流れるというものです。私も実は8年前腰痛が続いていたもので、人の勧めで楊先生の治療を受けた結果、正常に歩ける様になり今でも普通に歩いています。私の体験では、電流を体に入れると患部に痛みを感じるがありますが、これはまさに患部が良くなっているとの実感が得られます。

神経痛やリュウマチ、肩こり、腰痛、生理痛、しびれ、麻痺、頭痛などには効果があります。また、うつ病患者に効果が大きいことも事例が証明しています。

東京や大阪にも何人かの施術士が増え、すでに業務として営業しておられます。広島にもこの健康法を導入される方が出てくることを期待したいものです。

但し就業には鍼灸国家資格が必要です。